

承認	議長	副議長	事務局長	次長	合議	担当
					 	

様式第1号

令和 7 年 5 月 15 日

真庭市議会

議 長 長 尾 修 様

真庭市議会議員 小 椋 一 郎 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

和気町役場

3 内 容

有害鳥獣対策

(いのドン・ハイパー鹿ソニック)

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼

☒ 必要

・ ☐ 不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

参加議員名簿

令和7年5月26日

No.	ふりがな 名 前	会 派 名	備考
1	妹尾 智之	公明党真庭市議団	
2	小椋 一郎	公明党真庭市議団	
3	奥 侑樹	翠山会	
4			
5			

行程表 ※自家用車を利用（往路）

真庭市役所発 ⇒ 国道179号 ⇒ 国道374号 ⇒
11:30

県道96号 ⇒ 和気町着（昼食） ⇒ 和気町役場着
14:20

2025年6月4日

真庭市議会議員 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 奥 侑樹



下記のとおり政務活動費を使用して調査研究を行いましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時

自 2025年5月26日（午後）14時30分

至 2025年5月26日（午後）16時30分

2 場 所

和気町役場および町内実証実験現場（岡山県和気郡和気町）

3 用 件

鳥獣害対策装置「ハイパー鹿ソニック」の実証実験に関する視察および意見交換

4 概 要

議員となって初めての視察として、和気町を訪問。

同行者は小椋議員、妹尾議員および和気町議会の■■■■議員。

視察の主目的は、T.M. WORKS社が開発した高周波音照射型鳥獣害対策装置「ハイパー鹿ソニック」の設置状況および効果についての実地確認であった。

同装置は、鹿やイノシシ等の野生動物に対して高周波音を照射することで農作物被害を抑制することを目的としており、和気町では複数地点において実証事業の2年目（最終年度）を迎えている。

庁舎での説明と質疑応答の後、現地設置場所（中山サーキット付近・鵜飼谷温泉裏）を訪問。市販のポールや車載バッテリーなどの工夫も見られ、農業高校との連携活用の可能性も感じた。

また、和気町の鳥獣害捕獲数（年間シカ1,000頭以上、イノシシ500頭以上）と比較して真庭市でもそれを上回る捕獲実績があることに驚き、真庭市における被害実態との比較検討の必要性を実感し



た。

5 所 感

「ハイパー鹿ソニック」は、アニマルウェルフェアの視点から優れた機器である一方、忌避対象が移動するだけで根本的な解決とはなりにくく、音慣れへの対策、他の手段（電気柵等）との併用、設置後のメンテナンスなどが重要であると感じた。

また、スクールバスや鉄道車両への設置事例にも関心を持ち、真庭市の通学環境への応用可能性についても考察を深めた。

さらに、偶然目にした和気町の県立高校寮「地域学習交流センター」の取り組みも印象深く、市町村が県立高校とどのように関わるかを考える上で、寮を通じた関与が有効な接点となる可能性を認識した。

視察を通して、真庭市においても「捕獲依存」と「侵入予防」を併存した施策が求められていることを再認識し、多元的・低負荷・住民主体の鳥獣害対策モデルの構築の必要性を強く感じた。

報 告 書

令和7年6月 2日

真庭市議会議長

殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 小椋 一郎



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・~~研修会~~・~~要請陳情活動~~をしました
ので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 令和7年 5月26日 (午前・午後) 14時30分 至 令和7年 5月26日 (午前・午後) 17時00分
2 場 所	岡山県和気町 木倉地内農地 鵜飼谷温泉地内
3 用 件	有害鳥獣対策 ハイパー鹿ソニック事業について、効果、設置費用 などについて視察
4 概 要	害獣被害の減少を目的として、岡山理科大学と民間企業が開発した高周波音を照射する害獣の追い払い機器「ハイパー鹿ソニック」を活用し、観光施設や農地、通学路等でシカやイノシシなどの害獣追い払いの検証実験を行い、効果を検証している。 この情報を知り、十分な効果があれば真庭市にも、導入の検討ができるのではないかとこの思いで視察に参加しました。



「ハイパー鹿ソニック」は岡山理科大学の辻 維周教授とTMワークスの轟社長が共同で開発。

獣と人間の生活エリアを明確にするための機器であり、駆除するためのものではない。

「ハイパー鹿ソニック」の性能は、距離で200m。角度は100度までカバーできる。

令和6年から試験運用中で、効果が認められる箇所、認められなかった箇所の原因、対策を検討中である。

課題として、音が出ること。音の大きさは鳥のさえずり程度のものであるが、民家やキャンプ場の近くでは、クレームが出る可能性がある。

設置費用についてもソーラーパネルをつけると費用が30万近くなり、高価となる。

雨天や冬季は、100vの安定的な電源の確保が必要となる。

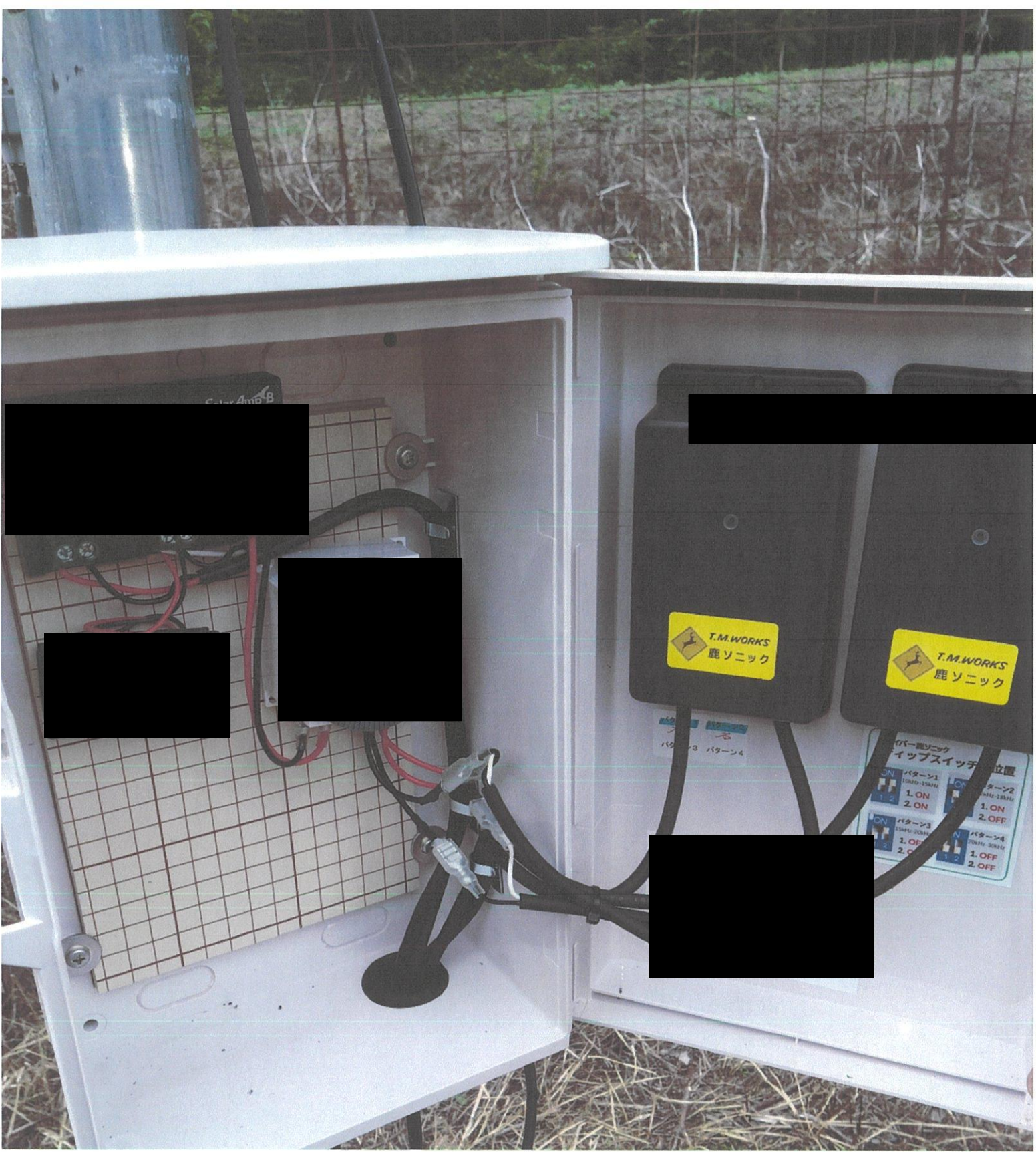
実際に設置した現場を見た感想は、「ハイパー鹿ソニック」単体では確実に作物を守りきれないので、電柵などの補助的な使用法になると考える。

害獣は数ヶ月で音に慣れてしまうので、音の設定を変更する必要がある。

想定として、電柵を張っていても害獣に荒らされる。また、電柵を張れない林業の方達の中で、効果があるのであれば設置してみたいという方々には、おすすめしても良いのではないかと。

「ハイパー鹿ソニック」は開発途中ということで、今後、更に性能が上昇し、サルにも効果があるものが登場する可能性は非常に高いと思われる。

真庭市でも、害獣対策のひとつとして、試験的に導入しても良いのではないかとと思う。





報 告 書

令和7年 5 月 28 日

真庭市議会議長 長 尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 妹 尾 智 之 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究 ・研修会 ・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時
	自 2025年 5 月 26 日（午前・ 午後 ）14時 30分
	至 2025年 5 月 26 日（午前・ 午後 ）16時 30分
2	場 所
	和気町役場 3階第1会議室
	大中山地内農地②（現地視察）
	和気鶴飼谷温泉 （現地視察）
3	用 件
	有害鳥獣対策
	（ハイパー鹿ソニック事業）
	
4	概 要
	・ 獣害被害の減少を目的として、岡山理科大学と民間企業が開発した高周波音を照射する獣害の追い払い機器「ハイパー鹿ソニック」を活用し、観光施設や農地、通学路等でシカやイノシシなどの獣害払い実証実験を行い、効果を検証する。
	・ 事業実施主体は、町議会、農業委員会、区長協議会、猟友会、学識経験者等で構成する「和気町有害鳥獣被害対策協議会」とする。

家庭用電源を活用したハイパー鹿ソニック

2024.4.28

ソーラーパネルでは、冬季や雨天時などに安定的な電源の確保が難しいことから、家庭用電源（100V）を用いた「ハイパー鹿ソニック」を長泉寺に追加設置した。

今後は、外灯の電力※を活用して設置予定。

※ 電力会社への申請が必要

イノシシの現れなくなったが、シカは時々現れる。まだ、すべての獣に効果があるわけではない。

課題はいくつもある

- ・ 設置場所
- ・ 費用（柵や網に比べ高価）
- ・ キツネやタヌキに対する効果

現在は、タイマーを使用しながら夜間に高周波を照射している。

照射角度100度、距離200mと広い範囲に効果的になっている。

現在2カ所で実証実験を行っている。

実証実験場所

大中山地内農地②

牧場近くの農地で、シカによる農作物（ネギ）の被害に困っている。

カメラでシカの出没を確認したため、ハイパー鹿ソニック1台を設置。

現在実験中。

鵜飼谷温泉

鵜飼谷温泉テニスコート近くの山林からシカ、イノシシが頻繁に出没しているとの情報を受け、暗視カメラを設置した。

シカの出没を確認したため、ハイパー鹿ソニック1台を設置。

当初は効果が見られたが、約1週間後にカメラにシカの出没が確認された。

辻教授に現地を確認していただくとスピーカーの上下が逆に設置されており

雨水侵入の可能性があるとの事で、正常に音が出ていない状態であった。
装置を正常に取り付けていただき、再度、実証実験を行っている。

「ハイパー鹿ソニック」はソーラーパネル仕様と100V仕様の2種類がありソーラーパネル仕様だとバッテリーもあり高額になる。

100V電源が可能であれば電源に心配なく効果が期待できるのではな

現在実証実験を行ない、シカが出没しなくなったことで、今まで出没しなかった場所へ出没している可能性がある。

音に慣れてしまっていて出役している可能性もあるので、音を変更して効果的に活用していくようです。（スピーカーは6つあり、音は4種類あるため音の組み合わせもできるようです）

農地では、ハイパー鹿ソニックと電気柵や鉄柵などとの併用で更なる効果が期待できるとのこと。

追い払うだけでなく、駆除をして個体数を減らすことも同時に進めていくことが一番だと感じます。

事業期間は、令和6年度～7年度の2年間

予算額 令和 6 年度 657,700円（実績）

令和7年度 254,000円

令和6年度決算内訳

事業費計 657,700円

① 消耗品費（ホースバンド、電池など）	28,290円
---------------------	---------

② 備品購入費	616,000円
---------	----------

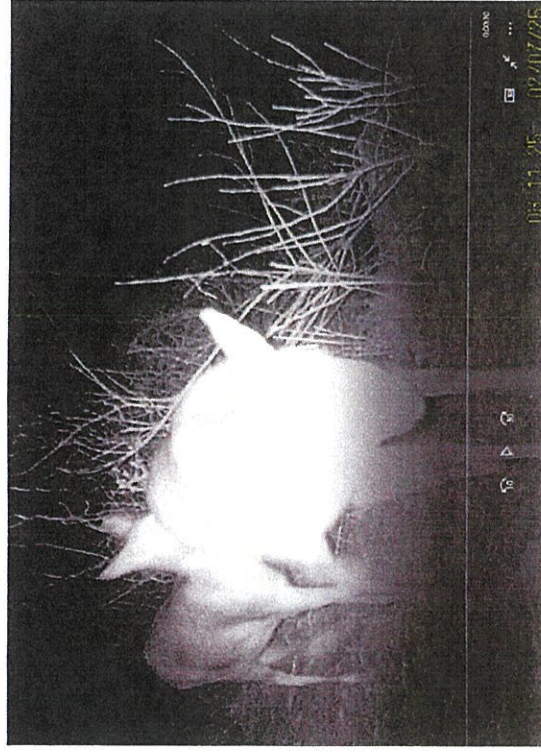
ハイパー鹿ソニック 291,500円 × 2台

監視カメラ	33,000円
-------	---------

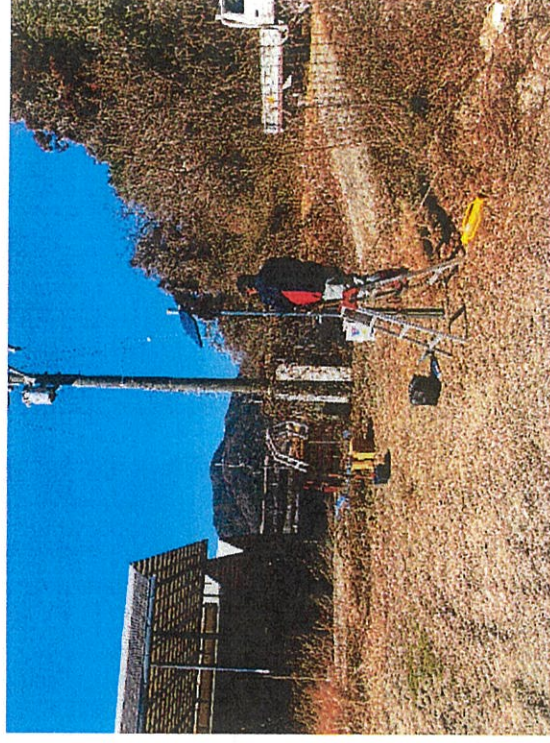
③ 実証実験指導料	10,000円
-----------	---------

④ 振込手数料	3,410円
---------	--------

実験6(太中山地内農地②)



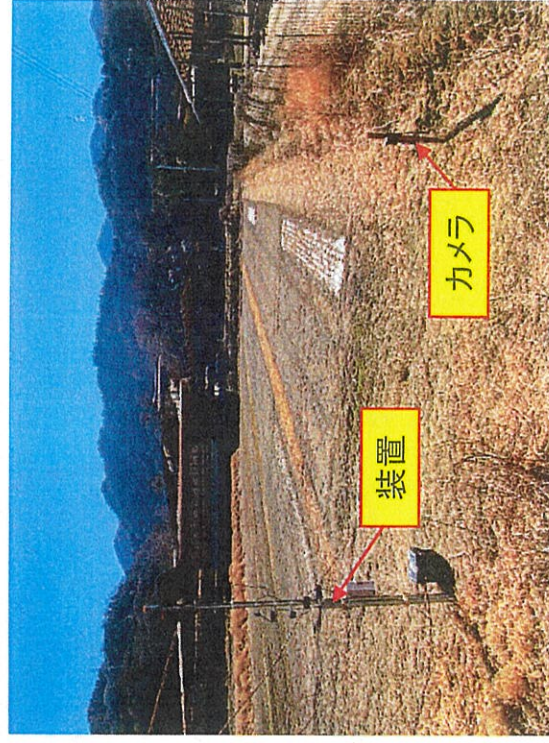
↑設置前のシカの出没写真



↑ハイパー鹿ソニックの設置状況



↑設置後の状況





実験 4 (和気鵜飼谷温泉)



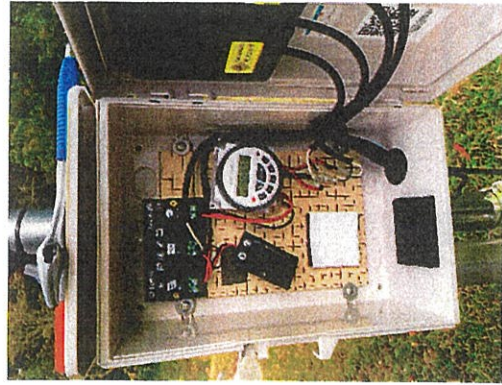
↑設置前のシカの出没写真



↑ハイパー鹿ソニックの設置状況



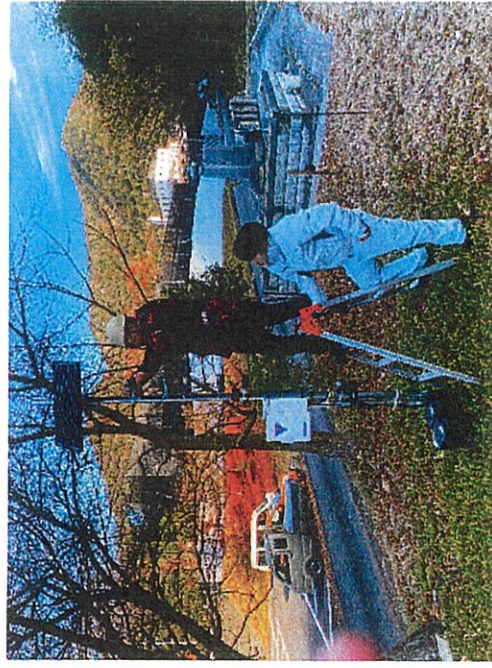
↑設置後の状況



↑装置のボックスの中



↑設置後、装置の設置状況を辻教授に確認していただいた。

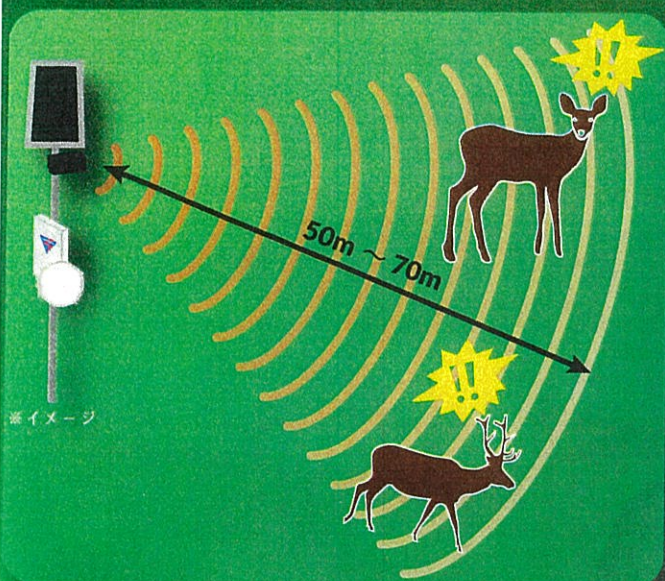


鹿ソニック

鳥獣害
対策に!

野生動物による作物への被害を減少させる!

シカなどによる農林水産業被害は、依然として高い水準にあり、経済的損失も大きく農業者の生産意欲の減退を招くなど被害防止対策が重要な課題となっています。



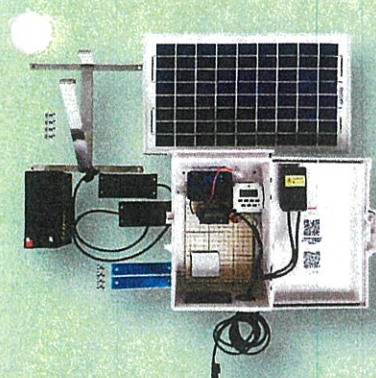
T.M.WORKS独自の音慣れ防止策を講じた高周波音を利用した製品で、ハウスや路地栽培の作物への食害を抑制する効果が期待されます。また、キャンプ場、ゴルフ場の施設ではゴミ等荒らされたくない箇所に設置することで、被害を抑制します。

鹿ソニックについては岡山理科大学辻教授と共に各地で実証実験を行っており、2021年2月・2022年2月とそれぞれ論文を発表いたしました。

・鹿、小動物、
イノシシにも効果あり!

・ランダム照射で
音慣れ防止!

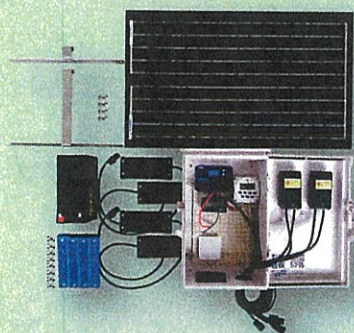
・人間には聞こえにくい
音で動物に警告!



鹿ソニックキット
鳥獣害対策用
ソーラーパネル仕様

本体 1 機
スピーカー 2 機
JK004

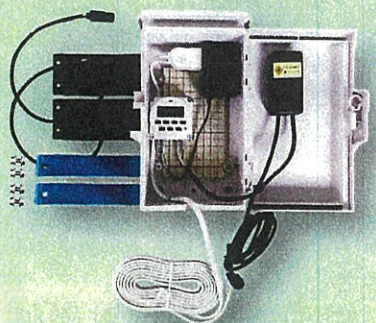
132,000 円税込



鹿ソニックキット
鳥獣害対策用
ソーラーパネル仕様

本体 2 機
スピーカー各 2 機
JK008

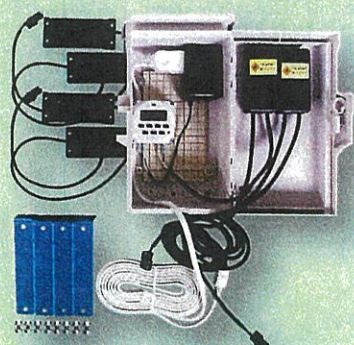
165,000 円税込



鹿ソニックキット
鳥獣害対策用
100V 仕様

本体 1 機
スピーカー 2 機
JK006

99,000 円税込



鹿ソニックキット
鳥獣害対策用
100V 仕様

本体 2 機
スピーカー各 2 機
JK010

137,500 円税込

※ 北海道仕様は製品内容が異なります。



和気美しい森

岡山県和気町
産業建設部 産業振興課



〒709-0495

岡山県和気郡和気町尺所555

TEL (0869) 93 - 1126

FAX (0869) 92 - 0667



岡山県和気町
産業振興課



〒709 - 0495 岡山県和気郡和気町尺所 555

TEL (0869) 93 - 1126

FAX (0869) 92 - 0667

【HomePage】 <http://www.town.wake.okayama.jp>

